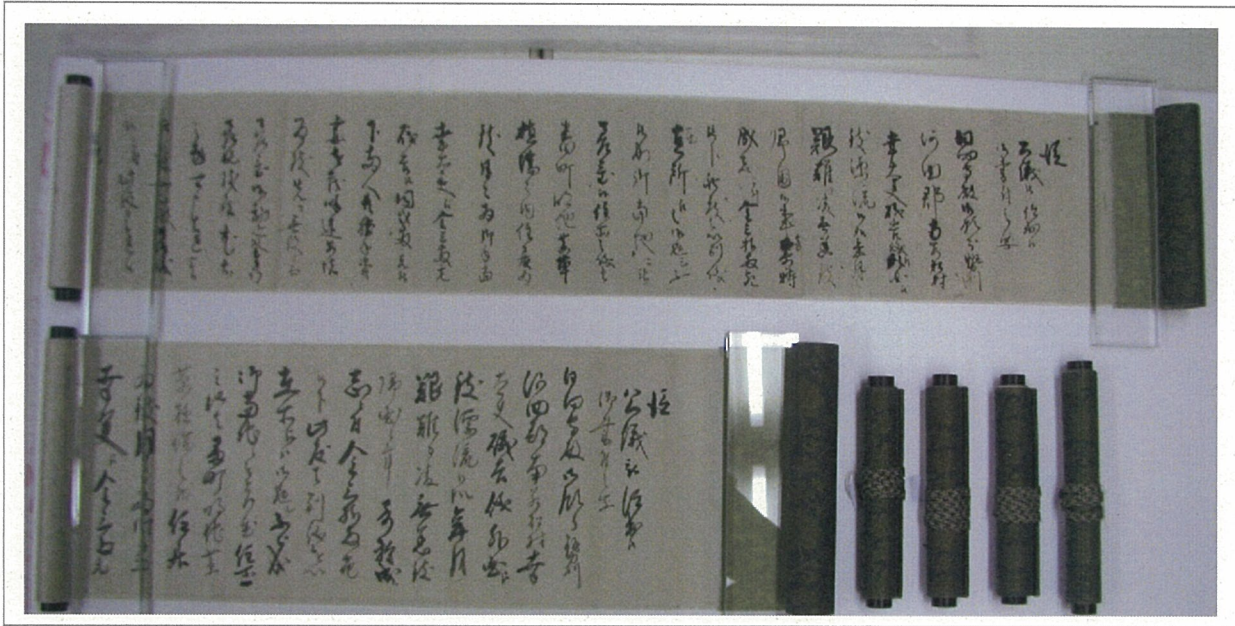


大黒屋光太夫 記念館だより



写真：大黒屋光太夫らの帰郷文書（一部）／鈴鹿市指定文化財

目次

特集 企画展「光太夫の里がえり」

- ☆ 記念館ニュース
- ☆ 記念館のご紹介
- ☆ 名前をロシア文字で書いてみよう

発行：鈴 鹿 市

問合先：大黒屋光太夫記念館

三重県鈴鹿市若松中一丁目 1-8

059-385-3797 (Fax 兼用)

ホームページ <http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/kodayu/>

企画展「光太夫の里がえり」

大黒屋光太夫記念館では 2006 年 4 月 1 日から「光太夫の里がえり」展をおこなっています。記念館が OPEN して 3 回目の展示となる今回の企画展では、鈴鹿市指定文化財「大黒屋光太夫らの帰郷文書」を中心に展示し、光太夫たちの里がえりについてご紹介いたします。

☆「大黒屋光太夫らの帰郷文書」とは？☆

大黒屋光太夫は、ロシアや西洋を体験して帰って来たけれど、鎖国をしていた江戸幕府によって監禁されてしまった悲劇の人と考えられていました。光太夫の一生を描いた代表的な小説である井上靖の「おろしや国酔夢譚」も、そういう視点で描かれています。さらに、一緒に帰って来た磯吉は里がえりをしていることがわかっていたのですが、光太夫に関しては里がえりの記録が見つかっていなかったために、地元の人々にとっては「光太夫はふるさとの土を踏むことも許されなかった」ということが、なおさら「悲劇」でした。

しかし、昭和 61 年 8 月、当時若松小学校の校長だった故・弓削弘氏が、若松小学校百年史を作成するために南若松の倉庫を調査し、たくさんの古文書を発見したことで、事態は変化しました。その中には、大黒屋光太夫が故郷の鈴鹿に里がえりしていたということを示す内容の古文書がたくさん含まれていたのです。光太夫が鈴鹿に里がえりしていた！という事実の発見は、鈴鹿に光太夫ブームをおこしました。また、帰国後の光太夫の処遇をもう一度考え直す契機ともなりました。そして、その古文書は「大黒屋光太夫らの帰郷文書」と名づけられ、鈴鹿市の文化財に指定されました。

記念館ニュース

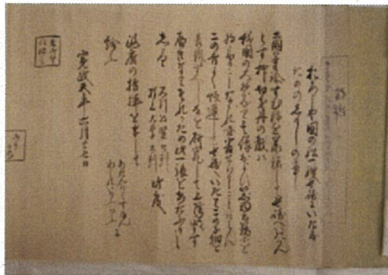
- ◎ 光太夫最晩年の作品である「ツル」の墨書など合計 5 点の資料が新たに寄贈されました。ご寄贈いただいた 3 名の方には市長より感謝状が贈呈されました。また、寄贈された資料は企画展「光太夫が書いたロシアの文字」で展示し、ご紹介しました。(2006. 2. 10)
- ◎ 記念館の入館者が **5000 人** を超えました！これからも皆さんが足を運んでくださる記念館を目指します。(2006.3.14)
- ◎ 企画展「光太夫が書いたロシアの文字」が終了しました。1585 名の方にご来館いただきました。資料をお借りした方々にもお礼申し上げます。(2006.3.30)
- ◎ 昨年の特別展で借用展示した「露字ニテ地名記入ノ北半球 図同日本図 異国船位置記入ノ北海道図」(静岡県立中央図書館蔵) 他 1 点の複製を作成しました。現在展示中ですのでご覧下さい。



寄贈資料を囲んで歓談する寄贈者
(市役所・市長応接室で)

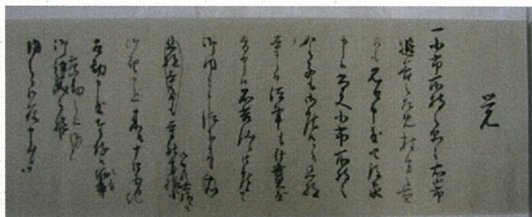
展示内容

1 章 光太夫の帰国



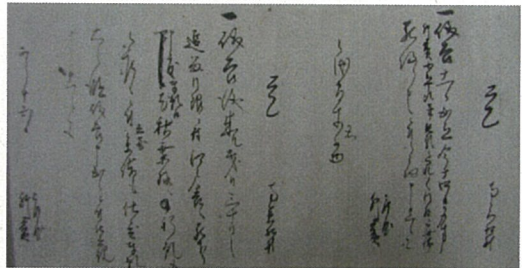
ラクスマン来航の際に、ロシア側に渡された信牌の写しと、光太夫・磯吉の江戸での処遇を決定した通知を展示します。

2 章 小市の遺品の里がえり



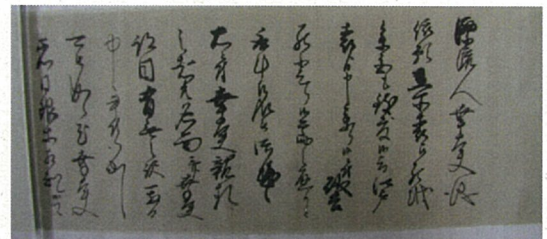
根室で亡くなった小市の遺品は故郷の妻に下げ渡されました。それは各地に貸し出され、追善供養と銘打った見世物になっていきます。

3 章 磯吉の里がえり



磯吉は、帰国から6年後に里がえりを許されました。母との再会を果たし、故郷でお正月を過ごしています。

4 章 光太夫の里がえり



光太夫の里がえりは帰国から 10 年後でした。故郷には母が生存していました。40 日間の滞在の中で念願であった伊勢詣にも出かけています。

記念館のご紹介

大黒屋光太夫記念館は、大黒屋光太夫を紹介することを目的として 2005 年 11 月 13 日に開館した鈴鹿市の施設です。当館では、多くの市民に大黒屋光太夫について興味を持っていただき、さまざまな視点から大黒屋光太夫について学んでいただくために、常設展は行わず、特別展や企画展を行っています。

また、大黒屋光太夫に関連する資料の収集につとめ、調査・保存を行っています。

♪ご利用案内

- 入館料：無料 ●開館時間：10：00～16：00
- 休館日：月曜日・第3火曜日(祝祭日の場合は翌日)、金曜日、年末年始
(詳しくはホームページのカレンダーをご覧ください)
- その他：ユニバーサルデザイン適合施設(車椅子はありませんが、お体が不自由な方はお手伝いします。)
 - 駐車場が満車の時や観光バスは若松地区市民センターに駐車してください(徒歩3分)

♪職員のご紹介

記念館には伊藤・木下の2名の職員が、開館から閉館までの館の管理と来館者の対応をしています。展示解説はまだまだ初心者マークですが、ご希望の方はお気軽にお声を掛けてください。

☆下の表をさんこうにして、自分の名前を、ロシア語で書いてみましょう☆
「大黒屋光太夫」なら「даikkoкyя kодаю」になります。

あа いи うу えэ おо
 かка きки くку けкэ ここ
 さса しし すсу せсэ そそ
 たた ちち つцу てтэ とто
 なな にни んну ねнэ のно
 はха ひхи ぶфy へхэ ほほ
 まま みみ むму めмэ もも
 やя юю よё または йо
 らら りри るру れрэ ろろ
 わわ をво んн または м

がга ぎги <гу げгэ ごго
 ざдзa じдзи ずдзу ぜдзэ ぞдзо
 だだ ぢдзи づдзу でдэ どдо
 ばба びби ぶбу べбэ ぼぼ
 ぱпа ぴпи ぷпу ぺпэ ぽпо

きゃкя きゅкю きょкё
 ぎゃгя ぎゅгю ぎょгё
 しゃся しゅсю шьсё
 じゃдзя じゅдзю じょдзё
 ちゃтя ちゅтю ちょтё
 ぢядзя ぢゅдзю ぢょдзё
 にゃня にゅню ньнё
 ひゃхя ひゅхю ひょхё
 びゃбя びゅбю бьбё
 ぴゃпя ぴゅпю пьпё
 みゃмя みゅмю мьмё
 りゃря りゅрю りょрё

企画展「光太夫がかいたロシアの文字」で大人気だった企画です。
 大黒屋光太夫記念館で「こうだゆうくんシール」をもらおう！



☆光太夫がロシアに漂流した頃と現在とは、表記の仕方が少し違ってきます。

☆小さな「っ」が入る場合は、ローマ字とおなじく子音を重ねます。

☆ のばす音 (ー) は、書きません。
 (コーダユー=кодаю)

自分の名前をここに書いて、受け付けの人にみてもらおう。こうだゆうくんシールがもらえます。